

カトリック六甲教会 教会報

2008

1

No.433

新年あけましておめでとうございます

1月の予定

		教会暦	教会行事
1	火	神の母聖マリア(祭日) 世界平和の日 元日	0:00 7:00 11:00 新年のミサ
2	水	聖バジリオ 聖グレゴリオ(ナザルス)司教教会博士	
4	金		初金 7:00 10:00 ミサ
6	日	主の公現(祭日)	
12	土		14:30 教会学校始業式(もちつき大会)
13	日	主の洗礼	7:00 10:00 ミサ 成人式・教会新年会 17:00 海星病院 集会祭儀
17	木	聖アントニオ修道院長	阪神・淡路大震災の日 7:00 ミサ 14:00 ベタニアの集い
18	金	キリスト教一致祈禱週間(25日まで)	10:00 婦人会 ミサと新年会
20	日	年間第2主日	
21	月	聖アグネスおとめ殉教者	14:00 三日月会ミサと例会
24	木	聖フランシスコ・サレジオ司教教会博士	
25	金	聖パウロの回心	
26	土	聖テモテ 聖テトス司教	14:30 教会学校ホールミサ14:30
27	日	年間第3主日 カトリック児童福祉の日	12:15 壮年会新年会 17:00 海星病院 集会祭儀
28	月	聖トマス・アクィナス司祭教会博士	11:00 ベビーとママの集い
31	木	聖ヨハネ・ボスコ司祭	

(注) 教会受付は1月3日まで休みます。4日(金)は午前中のみです。

主イエス・キリストのご降誕と新年のお喜びを申し上げます

今年もクリスマスや新年のときを迎えることになりました。釜ヶ崎の地域では早くも12月初旬からクリスマスの歌が朝市のいたるところから流れてきました。釜ヶ崎でもクリスマスの雰囲気や些細なことから伝わってきたなあと感じました。

さて、一般の社会ではどうでしょうか。人々はどのように「救い主であるキリストのご降誕」を記念するのでしょうか。ある人にはク

リスマスの祝いを準備するために自分たちの娯楽の予約をしたり、旅行や会食、プレゼントを期待し楽しんでいますが、一方で、そのような環境に恵まれない人は、一日一日を一生懸命に生きるだけで精一杯で、しかも、不安や苦しみなどを抱えながら、自分の人生をどう向上できるか分からない境遇を強いられています。「希望と平和の君であるキリスト・イエス」を迎えるのに自分たちが置かれている

環境から抜け出すチャンスが与えられていないからです。

私の居ます旅路の里では、幸いにこの地域におられる労働者・野宿者とともに今年もクリスマスを迎えることができ、次の一年をより幸福で、よりいのちの大切さを確かめ、「低みからかがやく神の栄光」を称えることができます。神様に感謝し、恩人の皆さまに感謝いたします。 高山 親神父

天にみなぎる神の栄光は

地の低いところ、

貧しさと闘う人々からかがやき出る。

痛みを知る仲間たちこそ、

世に平和をもたらす者。

父である神さま、

わたしたちはあなたをたたえ、

あなたに感謝します。

低みから立つ者ととともに

はたらかれる方(キリスト)

あなたこそ「世の罪」、

抑圧と差別をとりのぞく神。

あなたは、わたしたちの苦しみ、

さびしさ、不安、くやしき、怒りを、

身をもって知っておられる方。

わたしたちに勇気とちからを

与えてください。

仲間たちを立ちあがらせてくださる

あなたこそ、聖なる方、

ちからある方、ほんとうの神。

あなたは全てをご自身と一体のものにして、

聖霊とともに、

父のもとに向かっておられます。

アーメン

(労働者のミサより)

各 部 会 だ よ り

☞ 壮年会

本年もどうぞよろしくお願ひします。

壮年会新年会を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちします。

1月27日(日) 12:15~14:00 昼食会

於 第1, 2会議室

開始時刻 : 11時15分より

場所 : イグナチオホール

会費 : 2,000円

(当日、お支払い下さい。)

申込締切日: 1月13日(日)

※申込用紙は聖堂入り口に備えました箱にお入れ下さい。

☞ 婦人会

明けましておめでとうございます。皆様と皆様のご家族の上に神の恵みが豊かに満ち溢れますように。今年も宜しくお願ひ致します。

●1月18日(金) 10時ミサ後、婦人会新年会を計画いたしました。

婦人会の皆様の日頃の労をねぎらい、豊かなひと時を過ごしたく楽しいプログラムを準備いたしました。多くの方々のご参加をお待ちしております。

【聖堂当番】

1/4 (金) 東4・5、西1

13 (日) ミサ後6班

18 (金) 西2・3・4

27 (日) ミサ後 青年会

☞ 三日月会

【例会】 1月21日(月)14時ミサ~16時

講演: 三浦優子氏「グレゴリアンの流れ」

ビデオ鑑賞

【三日月会喫茶】 1月は休店です。

【行事】

1/18 (金) 婦人会新年会 (10時のミサ後)

👉青年会

1 / 13(日) 新年会のため定例会はありません。

1 / 27(日)11 時ミサ後、**聖堂の清掃**

12:30 定例会 於：第5会議室

内容：聖書を読んで分ち合い等

※ 初めての方もご参加下さい。

👉教会学校

1月12日 14:30 おもちつき大会

1月19日 通常クラス

1月26日 ホールミサ

👉地区会

【東灘区岡本地区区集会報告】10月31日

さわやかな秋の昼下がり、少人数でしたが、半年ぶりの集会を開きました。ロザリオの月の最終日、まずは皆でロザリオ一環を捧げました。マリア様がこの小さな共同体を祝福してくださるよう、特に今、病気で苦しんでいる方々の為に祈りました。

引き続き、初めての試みでしたが、フラワーアレンジメントに挑戦。地区のメンバーの甲斐さんが分り易く基本を教えて下さり、もの作りの喜びを楽しみ合いました。仕上げにカラフルな和紙で包むと、花屋さんの店頭にもおかしくないと思える程の作品ができました。こ

れから家庭祭壇を飾ったり贈り物やお見舞いなどに広く活用できそうで、講師の方に感謝しています。

このように素敵な特技や資格をお持ちの方がいらっしゃればその協力を得つつ、信徒相互の親交・信仰の場を設けたいと考えています。おしゃべりの花も咲かせ5時頃散会致しました。

(沖)

【六甲アイランド地区会報告】

待降節第3主日前日の12月15日(土)10時から、六甲アイランド地区では、高山さま宅で安芸神父様をお迎えして家庭ミサと集会が行われました。

「待降節のこの時期だけではなく、いつもイエスさまのことをもっと深く知ることにしましょう。そのためには聖書を暗記できるくらい、何度も繰り返し読みましょう」と安芸神父様はお話され、改めて気持ちが引き締まる思いがしました。

ミサ後は軽いお食事をいただきながら1時過ぎ頃まで、神父様を中心に楽しい談笑の時間を過ごしました。

幼いお子様を交えて13人が出席し、神父様のご指導の下、待降節にふさわしいお恵みに満ちた和やかで温かい会となりました。

(地区世話人 山田)

新年にあたって

評議会議長 高山

新年おめでとうございます。

昨年9月には小教区の規約改定委員会が発足し、教会組織の改定に取り組み始めました。教会の行事をこなすだけではなく司牧・宣教にウェイトをおいた教会に脱皮できるよう委員会の皆様が力を合わせて真剣に協議しております。

教会共同体は司祭などによるトップダウン型の組織ではなく、協働型のリーダーシップのもとで司祭・修道者・信徒がそれぞれ役割は異なっても平等に責任を担いあうべきであることを大阪司教区はその基本目標に掲げています。

私達の六甲教会も司教区の目標に叶うべく、信仰によって集う共同体であることを信徒一人一人が強くと覚していただきたいと願っております。どうぞよろしく願い申し上げます。

新年の大切なお知らせ

主任司祭より

新年に当り、これまで司祭団や小教区評議会で話し合われて来た“**みんなで担う信徒奉仕職**”についてお知らせしますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。出来るだけ多くの人で担う、出来れば**みんなで担う**ことが一番大切です。生き生きした教会、心温まる教会・・・、本当に教会に来て良かった！という六甲教会にしたいですね。そのような教会を、子供たちや次の世代の方々に伝えて行きたいと心から願っています。

1) **教会の全てのメンバーは**、キリストの弟子として、いただいた信仰の恵みと喜びを日々出会う方に言葉と愛をもって伝えていく使命を受けています。ご高齢や病気のため、また大きな苦しみや試練のため、その使命を日々の犠牲や祈りによって果たしておられる方々も数知れずいらっしゃいます。教会はその方々の犠牲や祈りに支えられているのです。

—— その意味でも、ご病気の方々・ご高齢で困っている方々への信徒による訪問（聖体奉仕を伴う場合を含め）を大切にしていきたいと思えます。

2) **聖書の勉強会や信仰入門講座などについて**。

信徒の皆様はシスターや信徒の方々が担当する勉強会に積極的に参加し、互いに信仰について学び合い、信仰の喜びや辛さを分かち合い、励まし合のが望ましいと思えます。日々信仰に生きるために・・・。教会としては、ゆっくり時間をかけながらクラスの担当や司会を担って下さる信徒の方々を養成し準備する必要があると思えます。

3) **教会の各専門部会**はどの部も必須のものであり、多くの方の協力を求めています。

最近墓地委員会や広報部において新しいメンバーが充実してきましたが、他方で施設管理部や養成部などには、新しい協力者が必要であるように見受けられます。青年会や若い世代の中から、是非新しいメンバーが参加して欲しいと願っています。

また、大阪教区・池長大司教から将来の教会のため「**宣教部**」を新設するように要請があり、結婚準備セミナーのスタッフや前記（2）のクラス担当者などで構成する方向で検討中です。

4) **集会祭儀の司式者について**：2000年秋より教区の認可を受け、3名が司式者に任命され、その後、計12名となりました。この方々には信徒による言葉の祭儀、家庭や地区会やグループでの祈りの集い、主日の集会祭儀（海星病院内チャペル）、将来には通夜の典礼などにも司式者として貢献していただくことになるでしょう。

5) **聖体奉仕者について**：教会法および司教協議会の定めによれば、22才以上で信仰生活3年以上の適正を有する信徒となっていますが、同時に六甲教会では奉仕者のために研修会・黙想会を開き、良く奉仕できるように準備しています。

今後も聖体奉仕が信徒の間に広がって行くことを希望しています。

以上のことは、主なる神への信仰という偉大な恵みを自らの祈りと奉仕によって深めながら、またお互いに励まし合いながら、キリスト者として日々信仰に生きる喜びと勇気を感じていただくと切に願っているからです。

<お 知 ら せ>

【社会活動部より】

12/28(金)～1/5(土)10:00～16:00 越年・越冬活動(神戸三宮・東遊園地)

♪カトリック教会担当日:1月1日(火)・5日(土)です。

♪上記時間内であればいつでもOKです。

1/12(土)10:00 炊き出し(イグナチオお台所)

♪小野浜グラウンドにて配食や、おじさんたちとのお話し相手だけでもOKです。

1/17(木)10:00 ベタニアの集い

♪参加自由。お気軽にご参加下さい

♪聖体拝領式と茶話会

1/20(日)9時ミサ後 手作りコーナー(イグナチオホール)

♪お弁当・食品・手作り小物等の販売

1/25(金)14:00 おにぎり作り(イグナチオお台所)

♪須磨方面夜回り支援

2/3(日)14:00～16:00 シナピス体験学習会(垂水教会於て)

♪“チャレンジット・誰もが必要な人”講師:吉川康夫(フレンドリー副代表)

☆詳しくは、ちらし・ポスター等でお知らせします。多数ご参加下さい。

初心者歓迎!男女・年齢不問!ご都合の合う日時で結構です。
ちょっと手の空いた時間を貸してください。
みな様のご協力、ご参加をお待ちしております。

【養成部より】

2008年を迎え気分も新たに勉強を始めましょう。

哲 学 講 座

講 師 奥村和滋先生(聖トーマス大学人間学科教授)

日 時 2008年1月26日(土)午前10時30分

場 所 六甲学院生徒研修所

受講料 一般 ¥1,000. 学生 ¥300.

※ 2月の哲学講座は祈りの道場の関係で、第三土曜日2月16日に変更となりますので、ご注意下さい。



旧約聖書勉強会（10月20日・21日）

～雨宮 慧神父によるアモス書講座～

講演は、柔和な口調でゆっくりとはっきりと聞き取りやすい。変に難しい専門用語はなく、我々が理解できるレベルで話された。生活習慣や歴史的背景等で分かりにくい所は、必ず解説があり説明が入った。大事なポイントは2回、3回と多少の表現を変えながら繰り返し言われたので、1度目でぼんやりしていたり、何の事かなとつまずいていても気付かされ、思考回路が切り替わって、スッとしみ込んでくるようであった。不明の事が理解でき賢くなったような気になり、「(難しい) 聖書が聞けた」という感激があった。

わかりやすい資料を用意し活用され、また原典に立ち返っての逐語訳での説明、さらにアモス書にとどまらず、詩編、イザヤ書、パウロ書簡等、聖書の多岐に亘る論理的な解説は、どこまで幅が広く、奥行きが深い。「年代と周辺諸国の動静を並列にした表」、「アッシリア古代勢力拡大地図」の資料は、理解を助けた。アモス6-6にある「破滅」は、ヘブル語では「シェヴェル」で、その語義では「骨折」と訳され、「富める者と貧困とに2分される」という意味にもなると、深い読み方である。俯瞰的な見方や解き明かしに納得し、楽しくなって、何とも言えない快感にひたることが出来た。

時間が経つのはあっという間で、『我々は、いかに神から遠く離れていることを自覚しなければいけない』と話され講演は終わった。そう考えていると、以前先生が「聖書に聞けば、自分の現実が教えられる。聖書を読むのは現実の姿を認めるためである。聞くことからすべてが始まる。」、と書かれていたことを思い出した。

(宮根)

(紙面の都合上、広報部によって編集再構成をさせて頂きました。原文はホームページに掲載しています)



おじさんも一緒にコンサート

07年12月1日、神戸中央教会に於きまして、シナピス神戸主催『社会活動神戸センター・須磨夜回り会支援“クリスマスチャリティーコンサート”』が開催されました。

このコンサートは、野宿を余儀なくされている人々と、その方たちが人らしく生きていくことを願って働く人々とのもっと深い繋がり、交わりを実現したいという思いを込めて企画致しました。

コンサート出演には神戸地区・大阪教区の若者達8グループ(37名)が応えてくれました。第2回目の今回は野宿者支援の原点である「夜回り」に焦点を絞り、出演者にも主旨を意識して臨んでいただきたいと思い、事前に「夜回り」への参加を呼びかけ、何人かの方が参加してくださいました。「夜回り」のベテランさんと組んで、お湯の入ったポット、インスタント味噌汁、お握り、お菓、毛布、センターからのお知らせなどを持って、夜の町に出かけます。おじさん達の置かれている状況の厳しさを目の当たりにし、暖かいお味噌汁を作りながら、「食事はちゃんと取れている?」「身体の具合は?」「気をつけてね。」としか言えませんが、言葉を交わす事で心には暖かなぬくもりを感じあえます。もう知らないおじさんではないのです。「夜回り」を通して心をひとつにして望んだコンサートでした。

会場入り口には夜回り風景の写真展示と「夜回りグッズ」を並べ、昼食にはスタッフ一同、炊き出しのカレーを頂きました。お客様の出足が鈍く心配致しましたが、170人ほどの方がお越しく下さいました。

管楽器バンドにはじまり～マリンバ演奏～J-ポップ～フルートアンサンブル～クラシック音楽～ロックバンド～フォークデュオ～ロックバンドと多彩な演奏に、会場は大いに盛り上がりました。若者達が歌うメッセージに、勇気付けられ、励まされました。そして心優しく、純粋な思いが胸に響きました。若者の教会離れが嘆かれる昨今ですが、このエネルギーがもっと上手く活かされたいと思いました。六甲教会からも6人の若者が演奏に、司会に企画に参加して下さい、コンサートを盛り立ててくれました。

ちょうど炊き出しから戻ってきたおじさん達も会場に入って一緒に楽しみました。皆に混じって楽しそうに手拍子を打っているおじさん達を眺め、昨年よりお互いの距離が近くなって、一歩前進したことを何よりも嬉しく思いました。

最後に活動センタースタッフ・いつも手伝ってくれるおじさん達、須磨夜回りのメンバーが前に並び、センター長の山野さん、須磨夜回りのシスター藤野から日頃の活動や思いをお話いただきました。会場みんなの心を揺さぶるすばらしい挨拶でした。今回のコンサートでは、知らずにいた野宿者支援・夜回りの現状を少し理解していただけたこと、そして何よりも、おじさん達が皆と一緒に楽しめた事が大きな収穫でした。参加者全員による会場片付けのあとの打ち上げには、センタースタッフ、おじさん達が準備してくれた炊き出しメニューのテーブルを囲み親しく交流のひとつを持ちました。当日、皆様から頂戴いたしましたカンパは **133.000** 円でした。活動センター・須磨夜回り会の活動資金と致しまして **66.500** 円ずつを届けさせて頂きました。

参加くださいました皆様、コンサートに関わってくださいました皆様、本当に有難うございました。最後まで見守り続けてくださった神様、ありがとう。

神戸地区社会活動委員会・シナピス神戸
事務局 長瀬



結婚セミナー祝福式兼クリスマス会を終えて

結婚セミナー参加者とその子どもたちを招待する会が、12月2日の日曜の午後に、例年通り開かれました。

お御堂での祝福式では、藤原夫妻の司会でオマリー神父様の話、家族の願い事を書いた書状の祝福、桜井神父様も加わっての家族ごとの祝福がありました。

その後ホールで、茶菓子が振舞われました。中村夫妻の司会で、家族ごとの自己紹介があり、「結婚十年のプレッシャー」が盛んに話題に上りました。「この会が毎年の楽しみ」という発言が出るたびに、古口夫人の破顔一笑する姿が印象的でした。

定番のビンゴでは、つげさんが豪華賞品？を当てた他、全員に賞品が当たりました。最後に24日のクリスマスミサへの案内があり、和気藹々（あいあい）のうちに閉幕しました。

今年目立った点は、参加者が四十名へと半減したことです。昨年からの食事のサービスを取り止めたことが直接の要因になりました。しかし、結婚セミナーをより長期的な視点から眺めれば、セミナー参加者が年々減少してきたことや、スタッフの高齢化が火急の課題になっています。

結婚から始まる家庭が、カトリック教会や日本社会の土台であることに思いを馳せるなら、より幅広い年齢層の教会員がスタッフとして参加することに興味を持って頂けるのではないのでしょうか。現にクリスマス会参加者の中に、セミナーの手伝いに意欲を見せて下さった方々を見かけました。受け皿づくりが求められていると思われます。 (塚崎)



クリスマスコンサート

コーラスに参加して

大きなホールでの演奏会とは違って、聖堂での演奏は初めての経験で心引き締まる思いでした。エリック・コロソ先生とコロソ由子先生のウィットに富んだ素晴らしいご指導で迎えた本番、指揮棒に吸い込まれるように夢中で歌い進み、「ハレルヤ」では会場一体となって賛美し、アーメンを唱えて聖堂中を深い響きでいっぱいにして歌い終えた時、「神様ありがとうございます！！」と叫びたいほど感

動しました。また、私にとっては天国から夫が歌うベースの声を思い、一緒に歌った特別な1日で生涯忘れられない「メサイヤ」となりました。当分ハーモニーの余韻にどっぷりと浸っていたいと思っています。暖かく励まし支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。（岩井）

コーラスに参加して

私は神様やその居場所に縁遠かったのですが、妻の参加している「メサイヤ」だけは以前から聴いていました。タキシードの男声コーラスは自分とは世界が違ふと思いつつ、コーラスにおける男声の必要性は分っていました。これからも聴衆で居続けようと思っていたのですが、妻(達)に半ば強引に引き込まれ、昨年からは参加しています。楽譜を必死にたどる程度ですから、ハーモニーに浸る余裕はありません。それでも昨年の練習成果が多少なりとも蓄積していました。今年限りと思っていたのですが、繰り返し参加すれば向上も期待できそうです。もう一回参加してみようという心境になりました。歌声で周りから援護してくれた阿部・鈴木両氏に感謝します。（大原）

クリスマス・コンサートを聴いて

開演 15 分前に開場の聖堂に入りますと、座席はほぼ満席で盛会を予感しました。

出演者の皆様の美声、見事なコーラスとソロに感動し、音楽の素晴らしさを堪能させていただきました。「ブラボー」と何人かの方が声を発しておられました。火曜日のイグナチオホールでのレッスンの歌声を時々耳にしておりましたが、レッスンの成果を発揮されお見事でした。「メサイヤ」では英語の歌詞をナレーションで説明があり、プログラムも見なくとも分り、大変有り難かったです。

戦中派の私にとっては、楽譜は無縁で歌うことは大苦手。それでもサラリーマン時代はジャズ、退職後は時間と心の余裕もでき、阪神大震災後の「レクイエム」、友達のお嬢さんの出演するオペラなど、本格的な音楽を直接味わうことができるようになりました。今回もコロongo夫妻のご指導もあって、プロに劣らぬコンサートでお蔭さまで充分音を楽しむことができました。ありがとうございました。（西川）



中高生会 クリスマス・コンサートを聞いて

森に入った時、その緑滴る新鮮な空気に、思わず深呼吸してしまうような清々しさ。美しいものを見たとき、出会ったとき思わず涙が出てしまうような印象を感じたコンサートでした。釜ガ崎へのチャリティー活動を通じ中高生が、いかに多くのことを学んでいるか！

あんなに感受性豊かな人間に育っている。そして、社会の現実に対し純粋な気持ちで真摯に対応しようとしている姿に心打たれたのは私だけではないと思います。こうしたおおぜいの若者がいる限り、六甲教会は勿論のこと、この日本もまだまだ捨てたものではありません。

コンサートは、前田リーダーのピアノ伴奏で中村リーダーのすばらしい天使の如きソプラノで始まり、つづいて Boys and Girls が十河先生の指導の下、吉村リーダー、久保リーダー、三澤リーダーその他の伴奏で歌った「Believe」、「心の旅」、「思い出がいっぱい」、「島唄」等のオハコからクリスマス・キャロルまで気持ちのこもった「Arts」でした。今回は、飲み物、お菓子つきという趣向で楽しい雰囲気作りにも工夫が凝らされ、温かい心のこもった手作りのサロンコンサートといった感じでした。

こんな中高生会のすばらしい活動を支えてくださっている指導者（井上、深山、青木、窪岡各リーダー）のみなさん、そしてお母さま方、その他裏方さんに大感謝です。（船井）

主任司祭の地平線

皆様、明けましておめでとございます。西暦 2008 年、平成 20 年という新しい年を迎え、皆様お一人お一人に神の祝福が豊かにあり、心身すこやかで幸多からんことを心から祈念致します。

お正月にお年玉を貰うのは、幾つになっても嬉しいものですね。実は今年、六甲教会は神様から大きなお年玉をいただきました。この春に当教会に派遣されるイエズス会の片柳弘史（かたやなぎ ひろし）神学生のことです。3月29日（土）に東京で助祭叙階、翌30日（日）当教会の初聖体ミサと教会親睦会に参加。3階司祭館に居住し、9月20日（土）東京で司祭叙階の予定であり、フルタイムの助任司祭として奉仕して下さいます。教会全体のため、特に子供・学生・青年・若い父母などのために力を注いでいただきたいと願っています。

片柳神学生は1971年埼玉県上尾市生まれで、大学の時に受洗（前年92年には父上が他界）、卒業後94年～95年にはマザー・テレサのもと、「死を待つ人の家」でボランティア活動を経験してイエズス会に入会。哲学・神学の勉強中には福岡・泰星学園中高で2年間教鞭を取る傍ら、恩師マザー・テレサに関する本と英訳・翻訳など計7冊の著作を現しています。趣味として魚釣りもされるので、是非ペトロのように、人間をとる漁師として神戸の地で存分に働かれることをご一緒に祈りたいと思います。ご本人も春には皆様に会えることを楽しみにしながら、日々の祈りと神学の卒業論文に力を入れておられることでしょう。神に感謝。

私個人にとっても、まだ1年余り神戸地区長の仕事で時間が必要なので、片柳さんの加入は誠に有り難いお年玉です。司祭館の生活でもネズミに囓られる心配がなくなりました。神に感謝。

📖 図書紹介

今回は中高生に読んでほしい本2冊を取り上げました。

「天平の夢」

井上 靖
新潮文庫

先日、当教会で講演して下さいの中村哲医師は、世界の恵まれない人たちに生きる意欲を与え、生活の安定をはかるために働いておられるとお話しされていました。

この本の舞台は今から1300年前。日本に仏教の戒律を伝えたいという一念で、あらゆる苦難を乗り越え、なんと17年をかけてやっとその“夢”をかなえた、鑑真という名僧と、5人の留学生の物語です。鑑真は何度も日本へ渡ろうと船を出しますが、その度に嵐などのために断念させられます。そのうち鑑真は失明しますが、それでもあきらめず、17年目にとうとう日本に上陸し、東大寺の僧に戒律を伝え、後に唐招提寺を開きます。

自分を捨てて人のために生きるという大きな愛の話です。時代は変わって、現代では冒頭の中村先生のように活動されている方もいます。そして同じように苦難を乗り越え、宣教のために来日された神父様方の苦勞も推し量って欲しいとこの本を選びました。

「四十一番目の少年」

井上 ひさし
文春文庫

養護施設での作者の体験をもとにした自伝的要素の強い作品です。

養護施設での上下関係、いじめといった逆境から這い上がり、世間並みのささやかな幸福をつかみたいと夢見る少年が、結局は殺人という形につき進んでしまうというお話です。

現代の子供たちに、貧しさ、人間関係、いじめといったことを考えてもらうのにとってもいい一冊です。是非、中学・高校の間に読んでみてください。（古川）